

平成26年度（第59期）事業報告

自 平成26年4月 1日

至 平成27年3月31日

1. 会員の異動状況

会員の種類		本期末会員数	前期末会員数	差引増減
名誉会員		12	12	0
正会員		2461	2412	49
学生会員		156	154	2
維持 会 員	S級	2	2	0
	A級	11	11	0
	B級	6	6	0
	C級	11	10	1
	D級	14	14	0
	E級	111	108	3
	合計	155	151	4
	公共会員	11	11	0

2. 事業の状況

(1) 行事

行事名	講演件数	参加者数	期日	場所
第5回日中トライボロジー先端フォーラム	22	94	平成26.4.13-15	富士
トライボロジー会議 2014 春 東京	210	937	平成26.5.19-21	東京
第58期通常総会・特別フォーラム	1	298	平成26.5.20	東京
平成25年度評議委員会	0	42	平成26.5.20	東京
Ladies Tribology Seminar	2	26	平成26.6.23	東京
第444回トライボロジー懇談会	2	27	平成26.6.27	栃木
第45回トライボロジー入門講座	8	111	平成26.7.3-4	東京
第7回トライボロジーテーマ別基礎講座	4	67	平成26.7.25	東京
第5回トライボロジー秋の学校 in 愛知	2	77	平成26.9.25-26	愛知
第7回トライボロジースキルアップ講座	5	40	平成26.10.14	東京
第10回固体潤滑シンポジウム	24	111	平成26.10.21-22	東京
第7回トライボロジー入門西日本講座	8	40	平成26.10.23-24	京都
トライボロジー会議 2014 秋盛岡	250	669	平成26.11.5-8	盛岡
日本-チェコ トライボロジー ワークショップ	31	24 (日本)	平成26.11.24-26	チェコ共和 国ミクロフ
研究会企画講座「タービン油・油圧作動油・ 加工油剤・グリースにおける添加剤・基油技術」	8	93	平成26.12.18	東京

第 445 回トライボロジー懇談会	3	2 2	平成 27. 1. 26	宮城
第 446 回トライボロジー懇談会	1	2 3	平成 27. 2. 4	東京
第 60 回トライボロジー先端講座	3	3 7	平成 27. 3. 16	東京

(2) 会誌

会誌は「トライボロジスト」を 12 回発行。ページ数本文 807 ページ (59 巻 4 号～60 巻 3 号)。特集として「地震・揺れから守るトライボロジー技術」, 「トライボロジーを支える可視化技術(2)」, 「機械状態監視診断技術の最前線とメンテナンス・トライボロジーの役割」, 「地球環境に配慮した潤滑油剤の動向(2)」, 「髪を中心とした美のトライボロジー」, 「世界のトライボロジー」, 「トライボロジーに関わる製品開発と企業化」, 「自動車用変速機の先端技術」, 「化学機械研磨の最新技術」, 「表面粗さに関する最近の動向」, 「トライボロジー分野に羽ばたく若手研究者」, 「表面テクスチャリング機能発現のためのテクスチャ創製(1)」を刊行した。

また、シリーズとして「技術資料 トライボツール開発記—ブレイクスルーへの挑戦—」を開始した。

(3) 研究会

研 究 会 名	種 別	回 数	場 所
添 加 剤 技 術	第 2 種	4	東京
固 体 潤 滑	第 2 種	3	東京, 茨城, 愛知
グ リ ー ス	第 2 種	4	東京, 兵庫
転 が り 軸 受 寿 命	第 2 種	2	東京
エ ン ジ ン 潤 滑	第 3 種	2	東京
転 が り 疲 れ	第 3 種	2	神奈川, 兵庫
シ ー ル	第 3 種	1	東京
鉄道のトライボロジー	第 3 種	1	東京
ファイル記憶のトライボロジー	第 3 種	2	東京, 神奈川
摩 耗	第 3 種	1	福岡
メンテナンス・トライボロジー	第 3 種	1	滋賀
塑性加工のトライボロジー	第 3 種	2	東京, 神奈川
トライボケミストリー	第 3 種	2	東京
自動車のトライボロジー	第 3 種	4	愛知, 京都
アルミニウムのトライボロジー	第 3 種	2	愛知
高分子材料のトライボロジー	第 3 種	3	東京
トライボ材料の環境適合性	第 3 種	1	東京
超 を 目 指 す 軸 受 技 術	第 3 種	3	京都
スペーストライボロジー	第 3 種	1	東京
エコマシニングとトライボロジー	第 3 種	1	愛知
食 品 工 場 用 潤 滑 油	第 3 種	0	

分子シミュレーションのトライボロジーへの応用	第3種	1	島根
変速機のトライボロジー	第3種	2	東京
機能性コーティングの最適設計	第3種	1	東京
テクスチャリング表面のトライボロジー	第3種	3	宮城, 東京, 愛知
エロージョンとその応用	第3種	1	愛知
境界潤滑	第3種	2	神奈川
工作機械のトライボロジー	第3種	1	東京
日本海トライボロジー	地区	1	富山
北海道トライボロジー	地区	2	北海道

(4) 主な取り組み

トライボロジーに関する科学技術の振興, 向上と普及を目的とし, 以下の事業を行った.

会誌 (トライボロジスト), 英文電子ジャーナル (Tribology Online) を発行した.

トライボロジー会議 2014 春東京および秋盛岡, 教育講習講座 (入門, テーマ別, 先端, スキルアップ等), 懇談会を開催した. 第5回トライボロジー秋の学校を開催し, 研究者と学生との交流促進を図った.

研究会では, 工作機械のトライボロジー研究会 (第3種) の新設, 第10回固体潤滑シンポジウム, 研究会企画講座「タービン油・油圧作動油・加工油剤・グリースにおける添加剤・基油技術」の開催等, 研究会活動を行った

第5回日中トライボロジー先端フォーラム開催, トライボロジー会議 2014 春東京での国際フォーラム開催, 日本-チェコ トライボロジーワークショップ後援等, 国際事業にも注力した.

トライボロジー会議 2014 春東京での倫理シンポジウムの開催, 新会計基準への移行等, 一般社団法人として社会的要請への対応を進めた.

トライボロジー会議 2014 春東京での「最新のトライボロジー実用化技術シンポジウム」開催, 新規入会正会員の初年度年会費免除, トライボロジストの論文掲載料一部無料化等, 会員増強と発表奨励への取り組みを行った.

学会ホームページの充実, スピーディーな情報揭示, 電子メールの同報発信を行って, 会員サービスの向上に努めた.